

女性リーダー養成講座 実施報告【第1回】

- 日時 9月7日(金)13:30~16:00
- 場所 香川県庁本館 12階 大会議室
- 参加者 41名

講義「女性はもっと活躍できる ーより会社を元気に、より人生を豊かにー」

講師：岩田 喜美枝 氏(公益財団法人 21世紀職業財団 前会長)

全体コーディネーター：小野島 恵子 氏(同 事業推進部長)

第1回目は、キックオフイベントとして、公益財団法人 21世紀職業財団前会長である岩田喜美枝氏をお迎えし、「女性はもっと活躍できる ーより会社を元気に、より人生を豊かにー」と題して、講演いただきました。



講演では、ご自身の経験に即して、組織の中で女性が活躍していくためのヒントについてお話しいただきました。

その中で、女性の活躍推進について、2つの課題があげられました。

- 1 仕事の継続(子育てや介護等との両立)
- 2 キャリアアップ(育成・登用)

まず、子育てや介護を行いながら仕事を継続するにあたり必要なことは、「選択と集中」。自分の中で優先すべき事項(例:良好な子育て環境、自らのキャリア)を決定したうえで、家族や企業の支援、社会的サービスなど様々な援助から、自分に合った援助を受けることが重要であると述べられました。



また、子育てや介護を退職の理由とせず、様々な要素を取捨選択して、自らが働きやすい環境を作り出すことが仕事の継続の秘訣となるとお話しいただきました。

更に、出産等を経て仕事を継続する女性が増える中、キャリアを停滞させることなく働くことも重要であるとお話しされました。

自分の経験や実力よりも大きな仕事をやり遂げたり、人事異動などで新たな仕事に取り組んだりなど、そういった経験を重ねて一皮むけることが成長のカギとなります。

また、ご自身の仕事体験から、人は何歳になっても成長できるもの、新たな分野にどんどんチャレンジしてほしいと、アドバイスいただきました。

女性の皆様へのアドバイス

【どのようにキャリアをつくるか】

- 難しい仕事、異動は成長のチャンス
(自信がないと感じる女性が多い。迷えばチャレンジすること)
- 当面の仕事で頑張る
(キャリアは不本意なもの。いったん達観することが重要)
- 人は何歳になっても成長できる
- 先輩から学び、後輩の力になる

【子育て等をしながらキャリアをつくるためには】

- 出産を先延ばしにしない
(後になればなるほど本人や職場の損失は大きい)
- 育児・介護・夫の転勤などの理由で退職しない
- 時間当たり生産性の高い働き方をする
- ここぞという時は育児等を言い訳にしない
(一皮むけるチャンスの時。自分がいなくても育児や介護ができるようにしておくこと)

講演の終了後は、5つのグループに分かれ、自己紹介や、これまでのキャリア、この講座に期待すること等を話し合っていたいただき、グループごとに発表して情報共有を行いました。

参加者からは、

- 「女性のキャリアアップを考えたい」
- 「他の参加者から刺激を受けたい」
- 「今後の人生のビジョンを開きたい」
- 「人生のキャリアを積みたい」
- 「今くすぶっている状態なので、自信をつけたい」

など、活発な意見をいただきました。

次回以降は、男女共同参画社会の基礎知識の講座やリーダーシップ研修などを行っていきます。



女性リーダー養成講座 実施報告【第2回】

○日時 10月5日(金)13:30～15:30

○場所 香川県庁本館 12階 第1・2会議室

○参加者 38名

講義「男女共同参画の基礎知識及び最新動向について」

講師：渋谷 典子 氏(公益財団法人 21世紀職業財団 客員講師)

全体コーディネーター：小野島 恵子 氏(同 事業推進部長)

第2回目は、公益財団法人 21世紀職業財団 客員講師の渋谷 典子氏をお迎えし、「男女共同参画の基礎知識及び最新動向について」と題して、お話しいただきました。

まず前半では、男女共同参画社会の基礎知識や基本理念についてご説明いただきました。

男女共同参画社会とは、簡単に言えば「**しかくい社会を丸くする**」もの。

人とぶつかり合うことがなく、穏やかな社会といったイメージ、という共通認識を図りました。

更に、男女共同参画社会の歴史、内閣府が制定した「第4次男女共同参画基本計画」についてご説明いただいた後、男女共同参画の重要ポイントについて3点お示しいただき、男女共同参画社会の現状と課題についての認識を深めました。

重要ポイント1

女性活躍推進法や候補者男女共同参画均等法が整備される中、共働き世帯数の増加や女性の就業率はアップし、意識よりも現実の方が先行しつつある。しかし、ジェンダーギャップ指数などを見ると、日本はまだ世界各国から遅れを取っていること。

重要ポイント2

長時間労働の削減等の働き方改革や男女共同参画に関する男性の理解が進み、長時間就業する男性の割合は減少しているものの、男性の家事・育児時間は諸外国に比べ極端に低いこと。

重要ポイント3

女性に対する暴力が多様化し、マタハラ、パタハラ
の認知度が上がる中で、職場での妊婦への理解や男性への育児支援が更に必要であること。



後半では、香川県の「第3次かがわ男女共同参画プラン」で設定された12の重点目標から、自分が率先して取り組みたいものを選択し、グループごとに「わたしたちが選ぶ 重点目標」として発表いただきました。



発表の中では、特に

重点目標6「男女の仕事と生活の調和」

重点目標7「雇用等での分野の男女の均等な機会と待遇の確保」

が多く選ばれ、その理由が語られました。

重点目標6・7を選んだグループの意見

- ・女性の政治の参画について、香川では進んでいないので、もっと推進していきたい。
- ・職場の中で、表向きは女性活躍推進と叫ばれながらも、実際には女性が昇進しようとする足を引っ張られることがある。もっと平等な視点で見てほしい。
- ・女性だから難しい仕事をさせない、女性だから優しく接するというのはもういらない。性別ではなく、能力で評価してほしい。
- ・雇用での男女の均等な機会と待遇の確保は、今の職場で実行できそうだ。
- ・長時間労働が改善されていない職場はまだたくさんある。仕事と家庭の両立だけでなく、趣味とのバランスも含めたワーク・ライフ・バランスを進めていかななくてはならない。
- ・就業時間が長い子育て世代の中で、頼られるのはやはり女性であり、男性と同じパフォーマンスを求められても難しい。女性に見合ったワークとライフがまだ整備されていないので、改善していきたい。
- ・男女共同参画についていくら教育を受けていても、やはり自らの家庭環境が、ワーク・ライフ・バランスや男女共同参画意識に大きく影響するのは。いくら法整備がなされても、個人個人の考え方を改めないと難しいところもある。



他の重点目標を選んだ意見

- ・日本でもっとグローバルな考え方を広めていくとともに、企業側からインバウンドの取組について引っ張っていくことで、行政も巻き込んでいきたい。(重点目標4 国際的な視点に立った男女共同参画の推進)
- ・男女の差はなくなってきているが、まず男女共同参画の基礎を学ぶのが重要である。(重点目標1 男女共同参画の視点に立った意識の改革、社会制度・慣行の見直し)

- ・災害が多い昨今、女性目線の防災対策が必要になってくる。(重点目標3 男女共同参画の視点に立った防災体制の確立)
- ・香川県は健康寿命が短いと聞いた。平均寿命が長くても、寝たきりになったり介護を受けたりする時間が長いのでは意味がないので、改善していかなくてはならない。(重点目標12 生涯を通じた女性の健康支援)
- ・離婚をした女性がひとりで生きていくことに対して、都会と田舎ではその対応にギャップがある。田舎では近所の目を気にして、都会では母子世帯が周りの援助を受けづらい環境にあるので、そういった女性達に協力していくには難しい面がある。(重点目標13 困難を抱えたあらゆる女性が安心して暮らせる環境の整備)

また、今回の講座では、県や市町の審議会への女性の参画、委員の公募制度なども紹介され、参加者の皆さんの新たな活躍の場へ足がかりにもなりました。

次回は、自分らしいリーダーシップを考えるワークショップ等を実施していきます。